

带状疱疹ワクチン予防接種をご希望の方へ

1. 带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

2. 带状疱疹ワクチンについて

① 带状疱疹ワクチンとは

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、不活化ワクチンの2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なります。いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

ワクチンの効果(報告)	生ワクチン	不活化ワクチン
接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

② 副反応について

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、不活化ワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

発現割合	生ワクチン	不活化ワクチン
70%以上	—	注射部位の疼痛
30%以上	注射部位の発赤	注射部位の発赤 筋肉痛、疲労
10%以上	注射部位のそう痒感 熱感・腫脹・疼痛・硬結	注射部の腫れ 胃腸症状、悪寒、発熱
1%以上	発疹、倦怠感	痒み、倦怠感、全身疼痛

3. 帯状疱疹ワクチンQ&A

Q1：帯状疱疹ワクチンを受けたいのですがどうしたらいいですか？またどちらのワクチンを受けたいですか？

A：実施医療機関（別紙参照）に事前に予約をとり、帯状疱疹ワクチンの接種券・接種料金（生活保護受給者は無料）・健康手帳（お持ちの方）・マイナ保険証、資格確認書のいずれかを持って、接種を受けてください。

帯状疱疹ワクチンには生ワクチン（全1回）、不活化ワクチン（全2回）の2種類があります。効果については表面に記載があります。医療機関によって取り扱っているワクチンの種類が異なりますので、医療機関にお問い合わせください。自己負担額は生ワクチン2,600円/回、不活化ワクチン6,600円/回です。

Q2：帯状疱疹ワクチンを過去に接種したかわかりません。どうすればいいですか？

A：健康手帳や、かかりつけ医等に記録が無いかのご確認をお願いします。過去に接種した事が明らかでない場合は、接種券を使用して定期接種として接種することが可能です。

※不活化ワクチンに関しては全2回接種のため、1回だけ接種している方は、残り1回のみ定期接種で受けられます。

Q3：過去に帯状疱疹にかかったことがあるのですが、定期接種の対象者になりますか？

A：定期接種の対象になります。

Q4：帯状疱疹ワクチンの接種対象年齢において、病気にかかって長く療養していたために、接種を受けられずに対象期間が終わってしまった場合、どうすればいいですか？

A：長期療養特例として認められた場合は、定期接種を受けることができます（この場合、接種可能となった日から1年以内に接種を受ける必要があります）。特例に該当するか否かについては、医学的な判断が必要です。詳細については伊勢市中央保健センター（健康課）にお問い合わせください。

Q5：今回接種券が送られてきましたが、何年後かに接種したいと考えています。今回接種しなければ、また券が送られてきますか？

A：定期接種の機会はこの1年間の期間のみです。生涯で1回きりですので、接種希望の方は期間内に接種してください。但し券が使用できる方は、初めて帯状疱疹ワクチンを接種する方に限りますのでご注意ください。2回目以降の接種は全額自己負担（料金は医療機関によって異なります）となります。

Q6：他の予防接種と同時に接種はできますか？

A：異なる種類の注射生ワクチンを接種する場合は、27日以上の間隔をあける必要があります。ただし、それ以外のワクチンについては、接種間隔の制限はありません。

Q7：副反応が起きた場合、制度はありますか？

A：定期的予防接種により重い副反応が生じた場合、厚生労働大臣が予防接種によるものと認定した時には、予防接種健康被害救済制度による給付の対象となります。

★内容に変更があった場合はホームページ等でお知らせします。